

An aerial 3D architectural rendering of a city intersection. A red and white train is traveling on an elevated railway track that crosses over a road. The surrounding area includes residential houses with blue and grey roofs, green fields, and a large white building. The scene is brightly lit, suggesting a clear day.

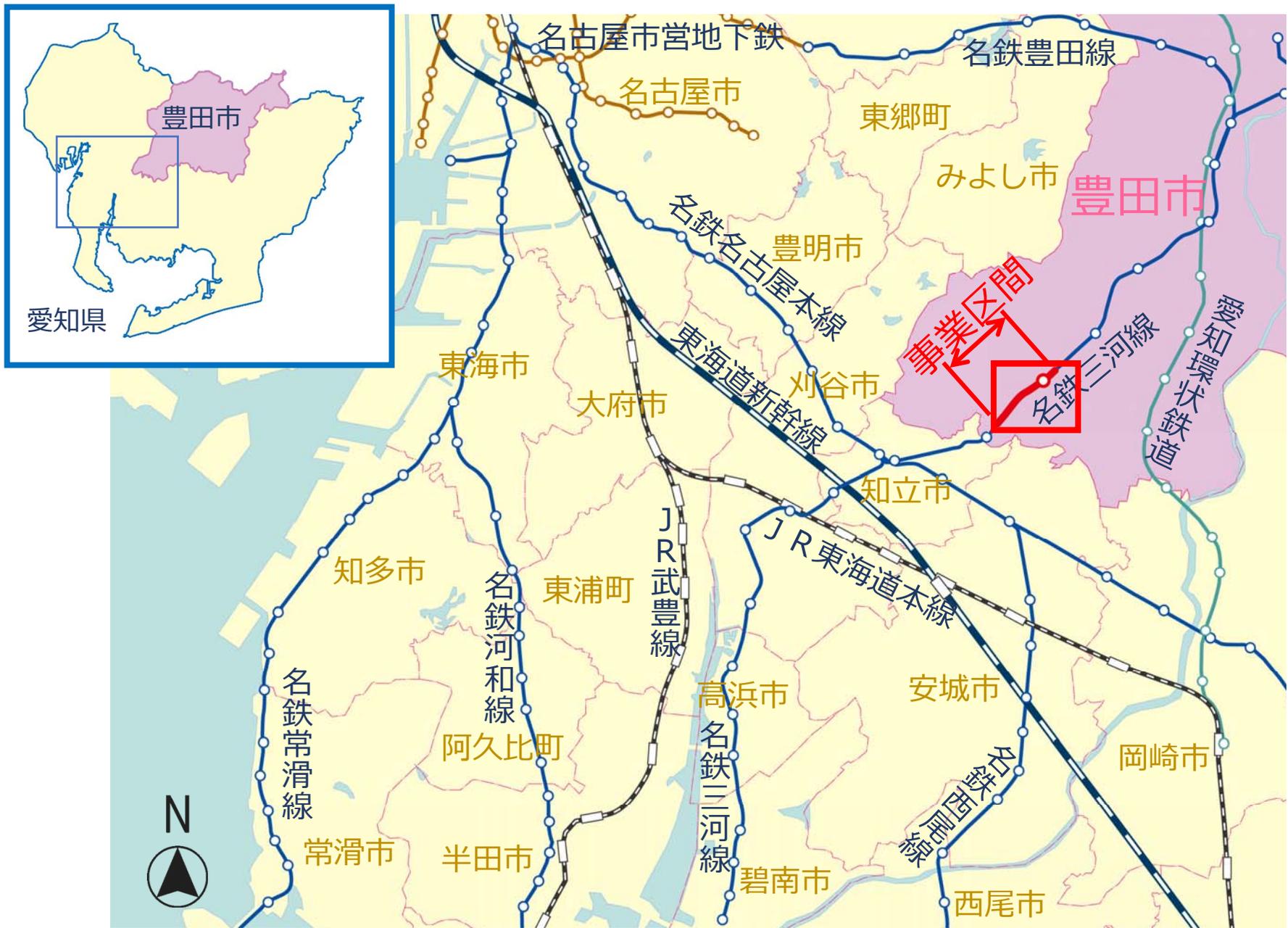
名鉄三河線若林駅付近連続立体交差事業

事業のあらまし



豊田市
Toyota City

事業概要

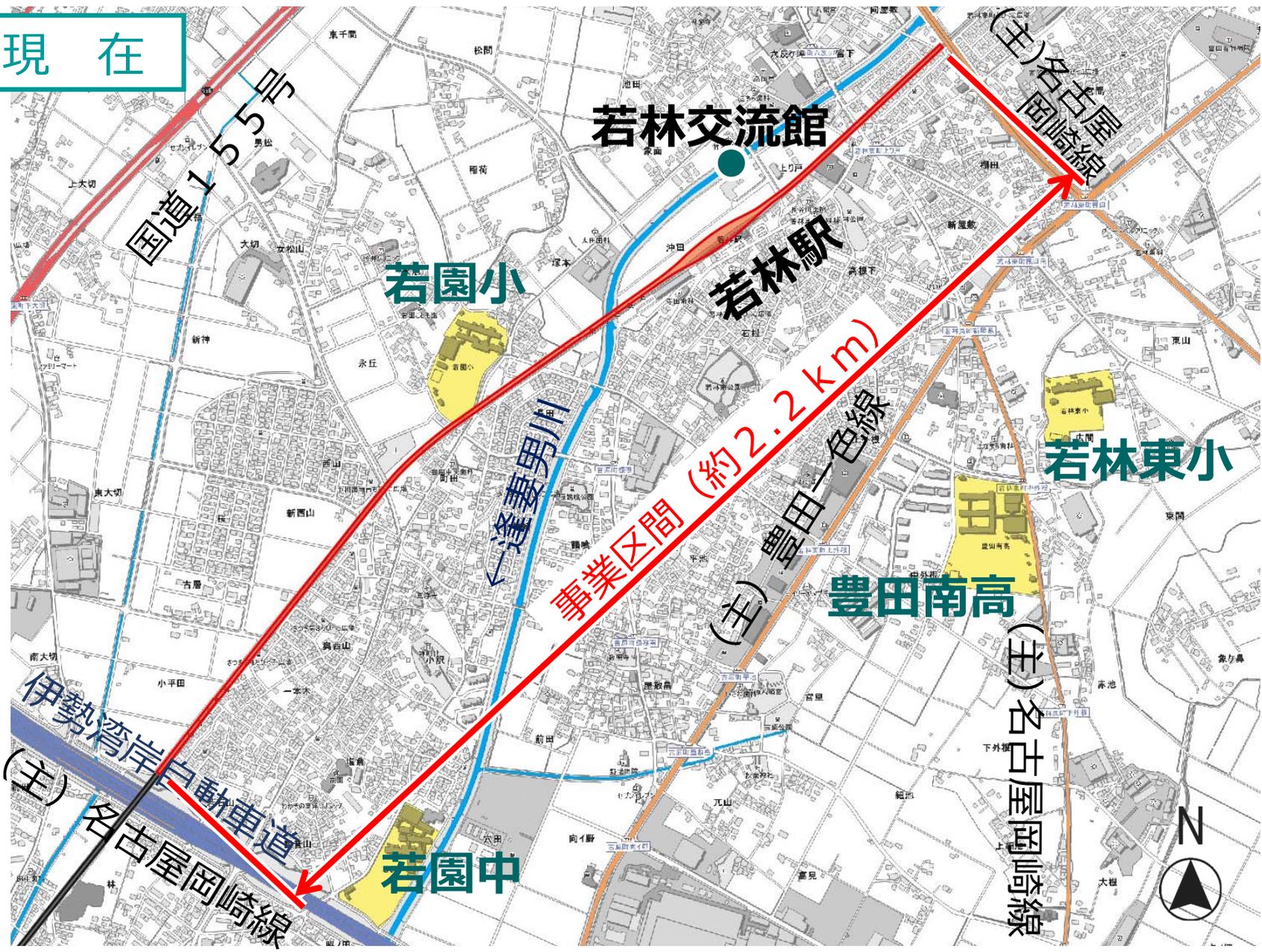


■ 事業箇所は豊田市の南西部に位置し、豊田市の猿投駅から碧南市の碧南駅までを結ぶ、名鉄三河線の若林駅付近となります。



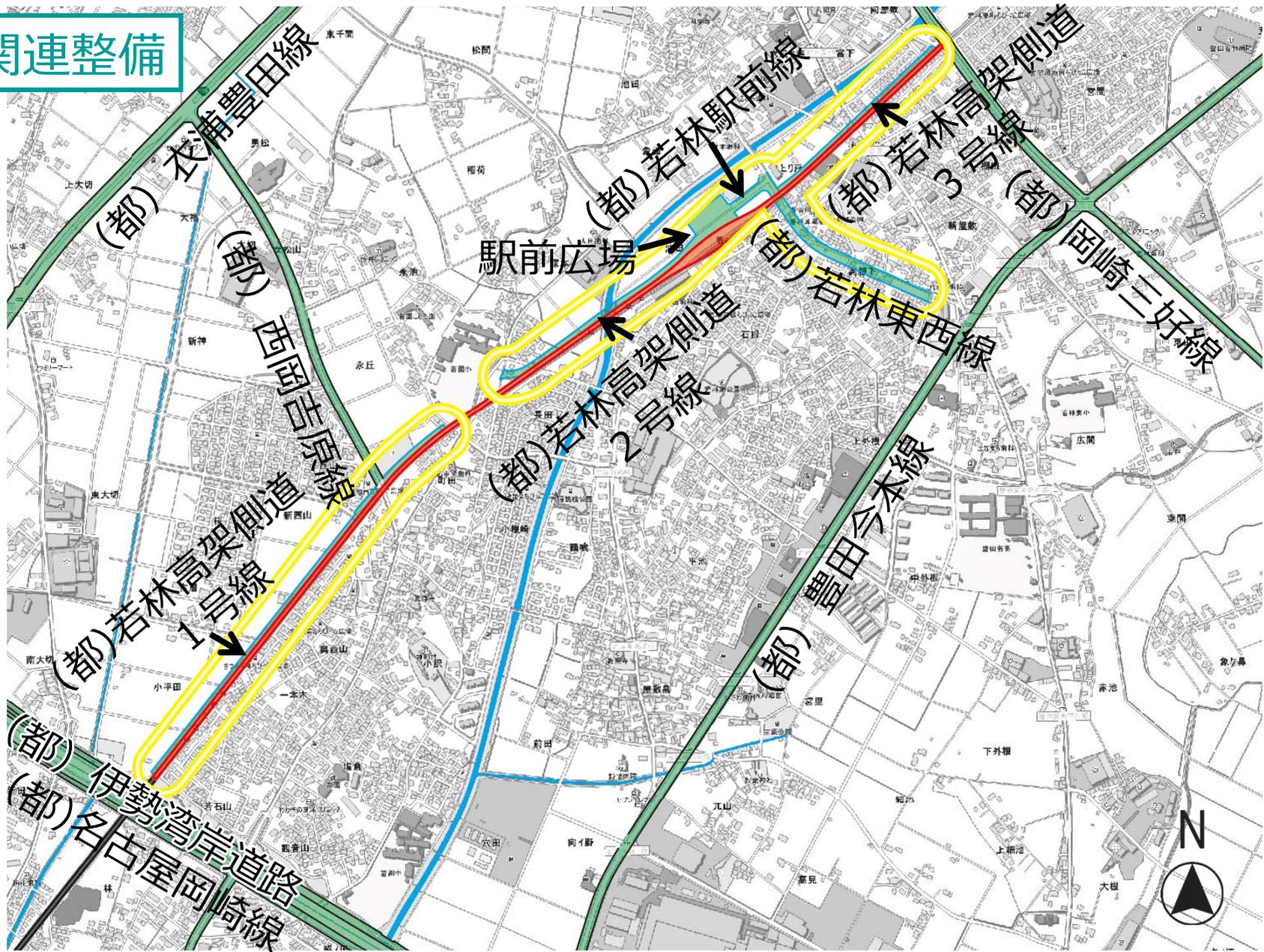
前頁の赤枠で囲った箇所を示した概略図です。事業区間は、伊勢湾岸自動車道から、主要地方道名古屋岡崎線までの約2.2キロメートルとなります。

現在



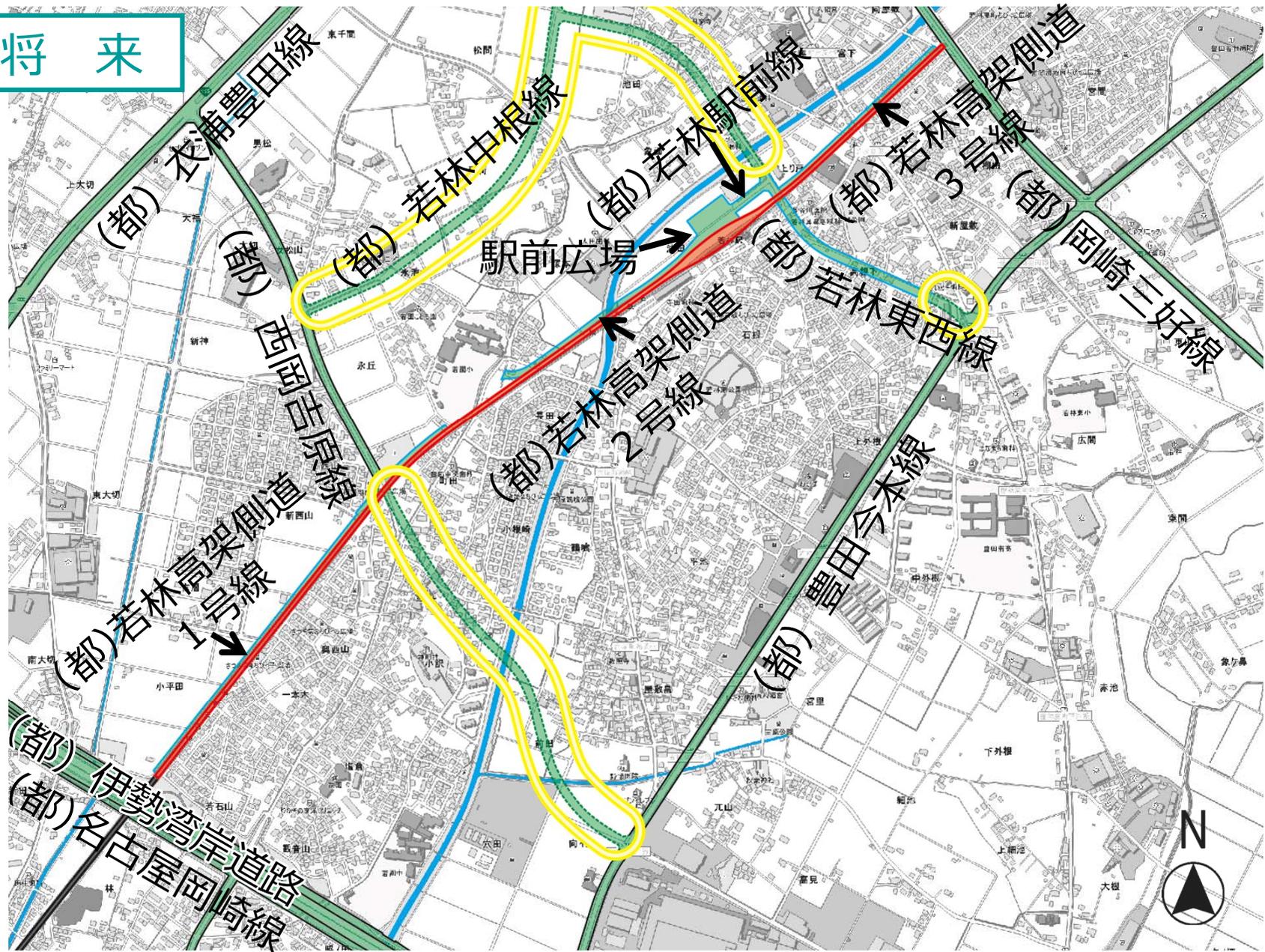
本事業は、すでに高架化されている三河八橋駅から連続した高架とし、若林駅も高架駅として整備するものです。

関連整備

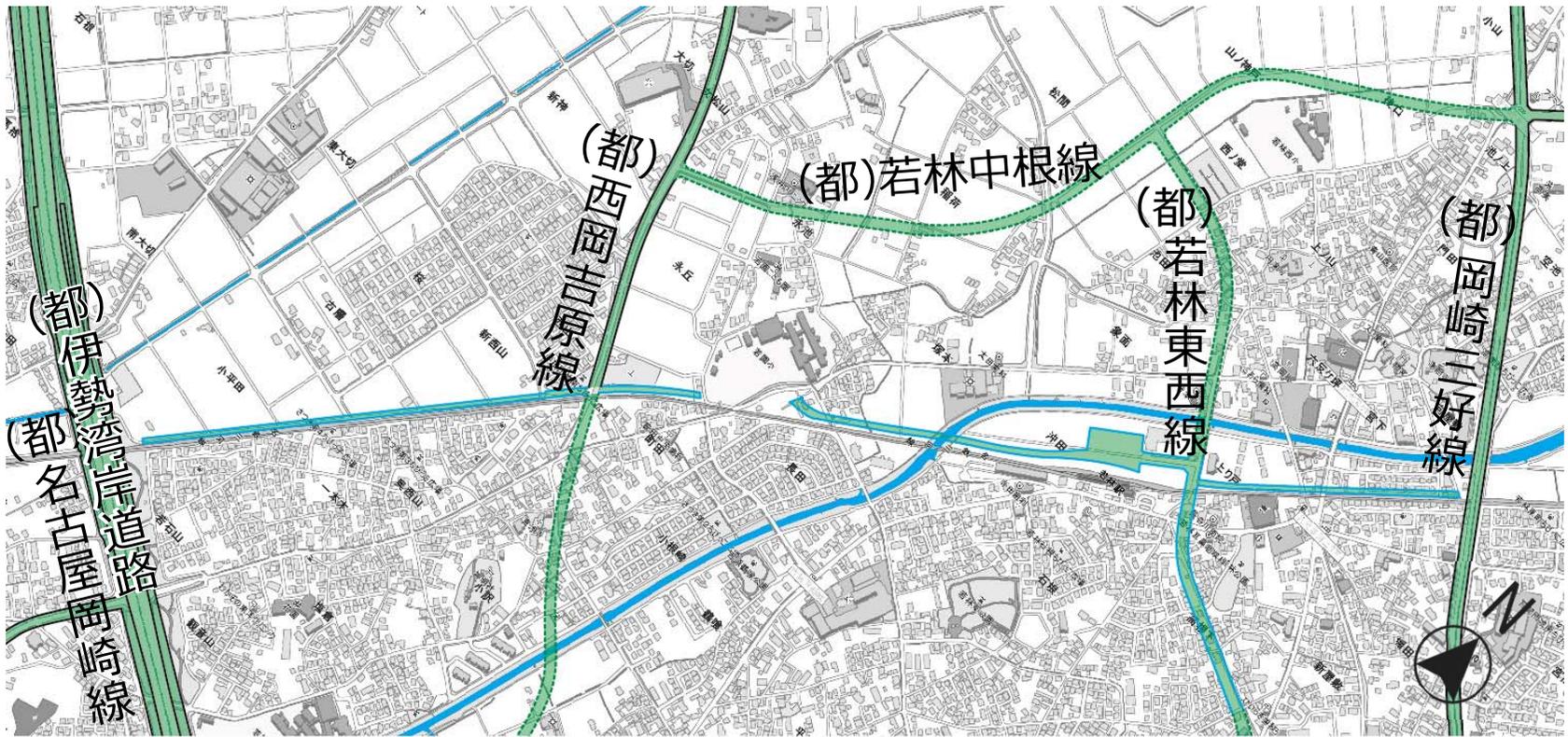


■ 鉄道の高架化に併せて、側道や交差道路、駅前広場等の整備も予定しています。

将来

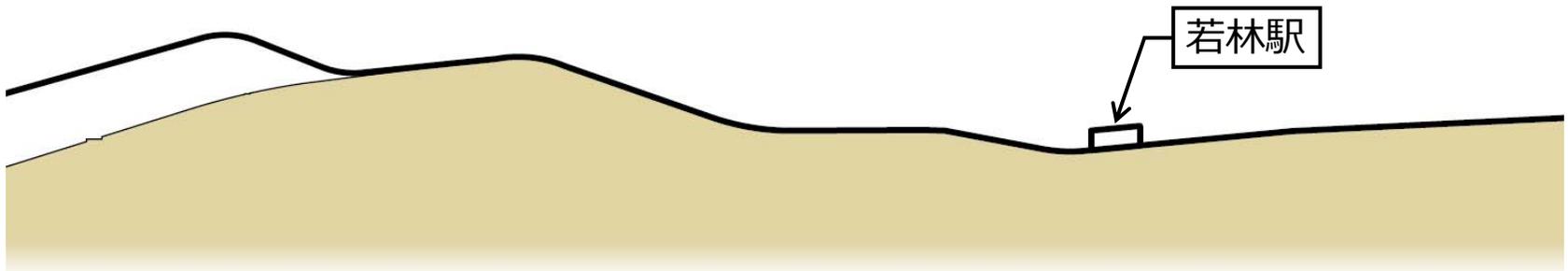


また、将来的には、周辺道路の整備も計画しています。

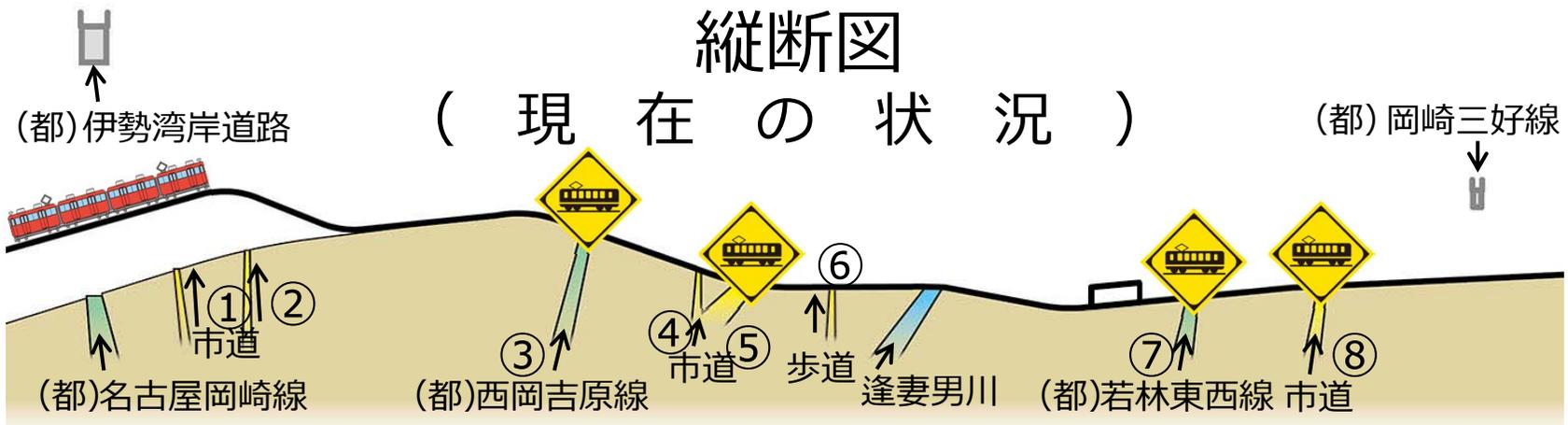


縦断図

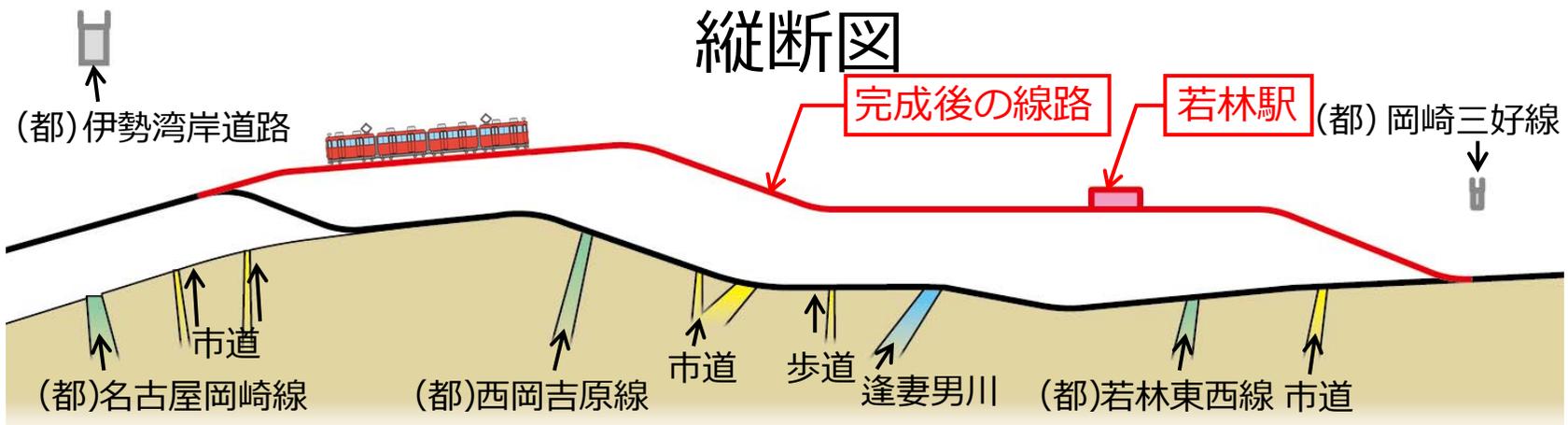
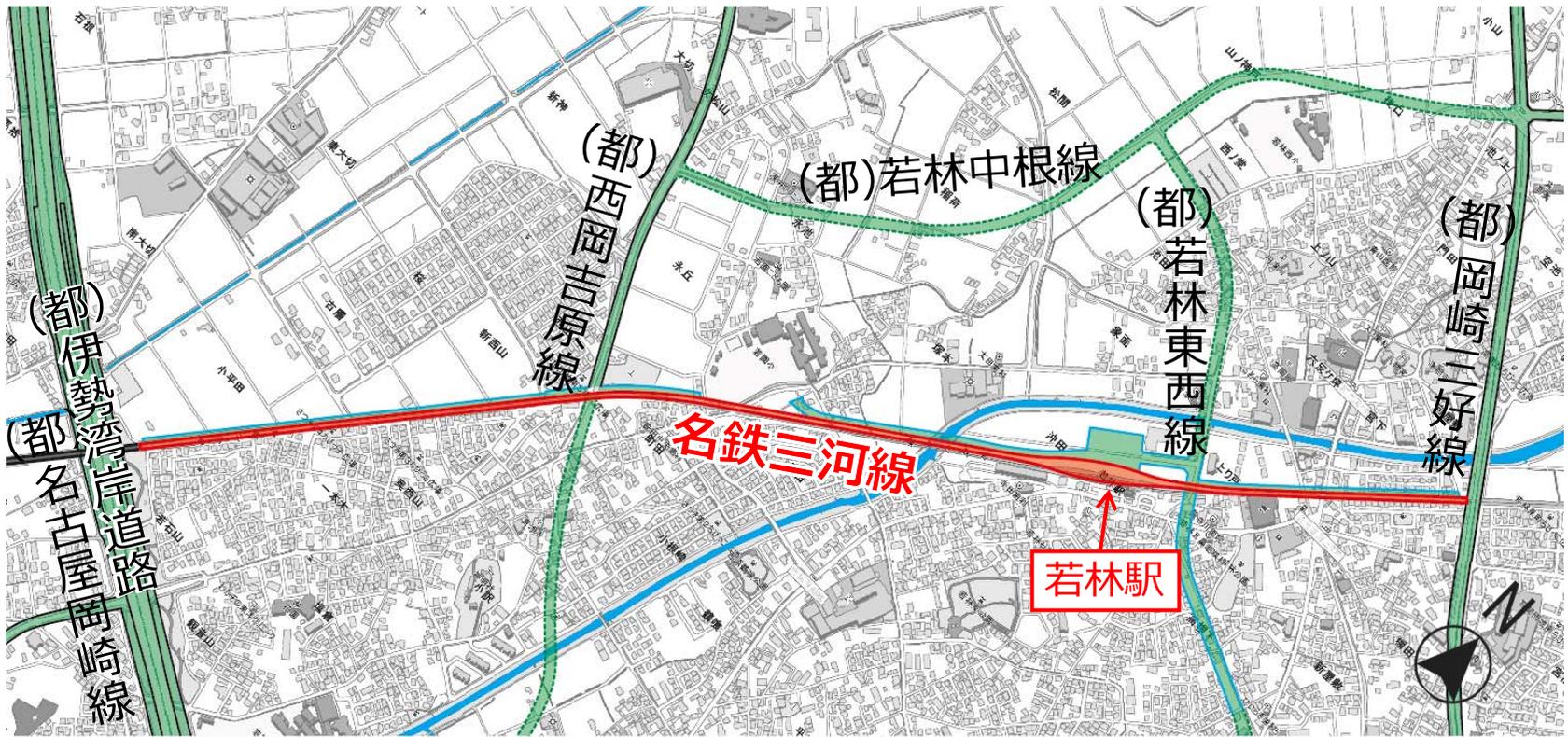
(現在の状況)



図の下側にある縦断図は、地形と鉄道の高さ関係がわかるように、鉄道を横から見た図面です。立体交差の状況を分かりやすくするため、高さ方向を強調して表現しています。



■ 鉄道の高架化により、計4か所の踏切がなくなります。また、都市計画道路若林東西線をはじめとする道路の、鉄道との交差部分8か所を整備します。



今回の事業は、すでに高架化されている三河八橋駅付近の高架から連続した高架となり、若林駅も高架駅として整備します。

事業効果



■ 鉄道の高架化により、道路から踏切が無くなり、渋滞が緩和されます。



■ また、踏切が無くなるため、踏切事故の心配がなくなり、安心・安全に通行できるようになります。



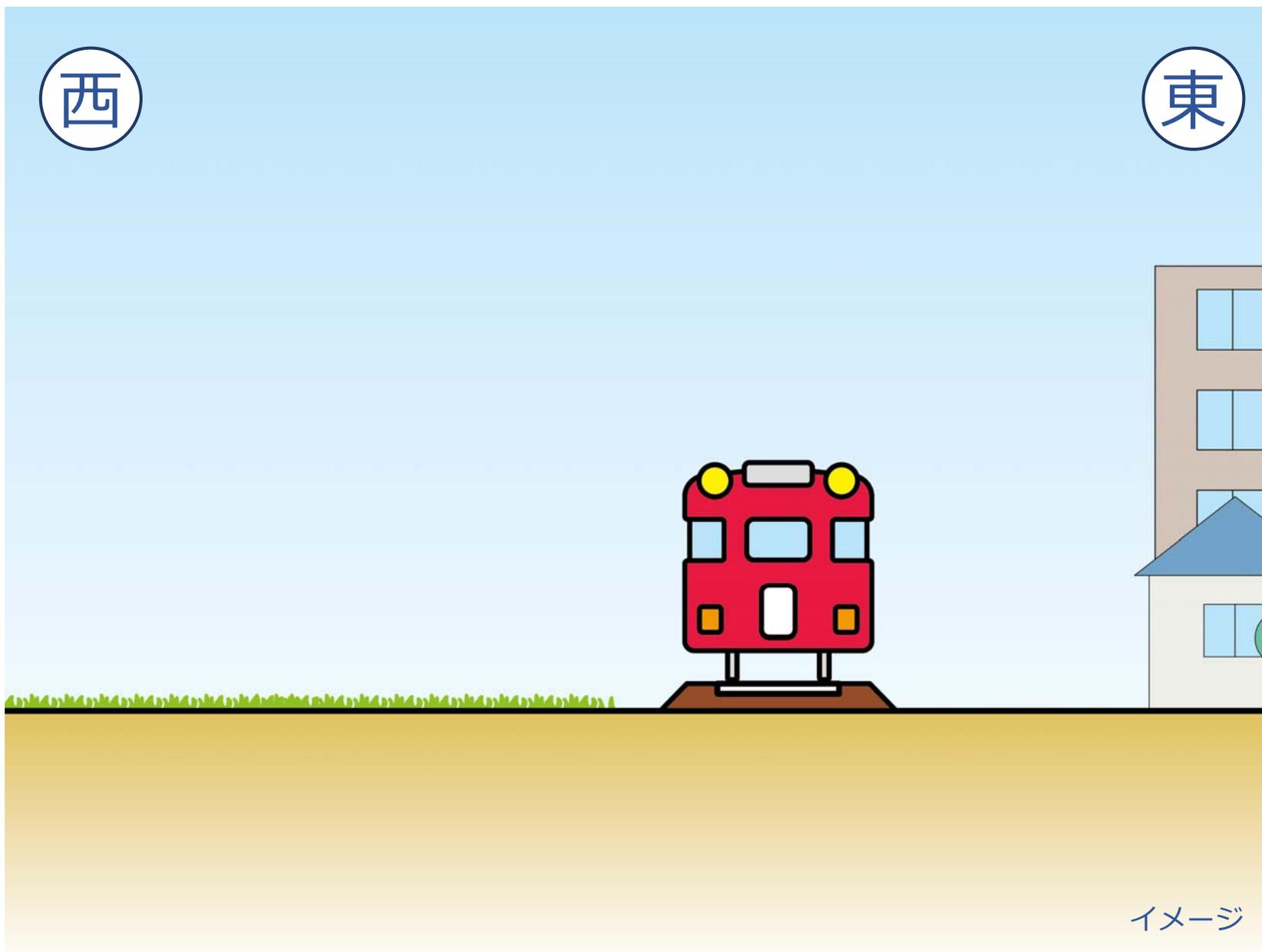
■ さらには、駅前広場整備による駅への送り迎え、駐輪場を設けるなどの高架下の有効活用により、駅への利便性が向上します。

また、周辺道路の整備により、駅へのアクセス性が向上し、良好な住環境の形成にも寄与することが期待されます。

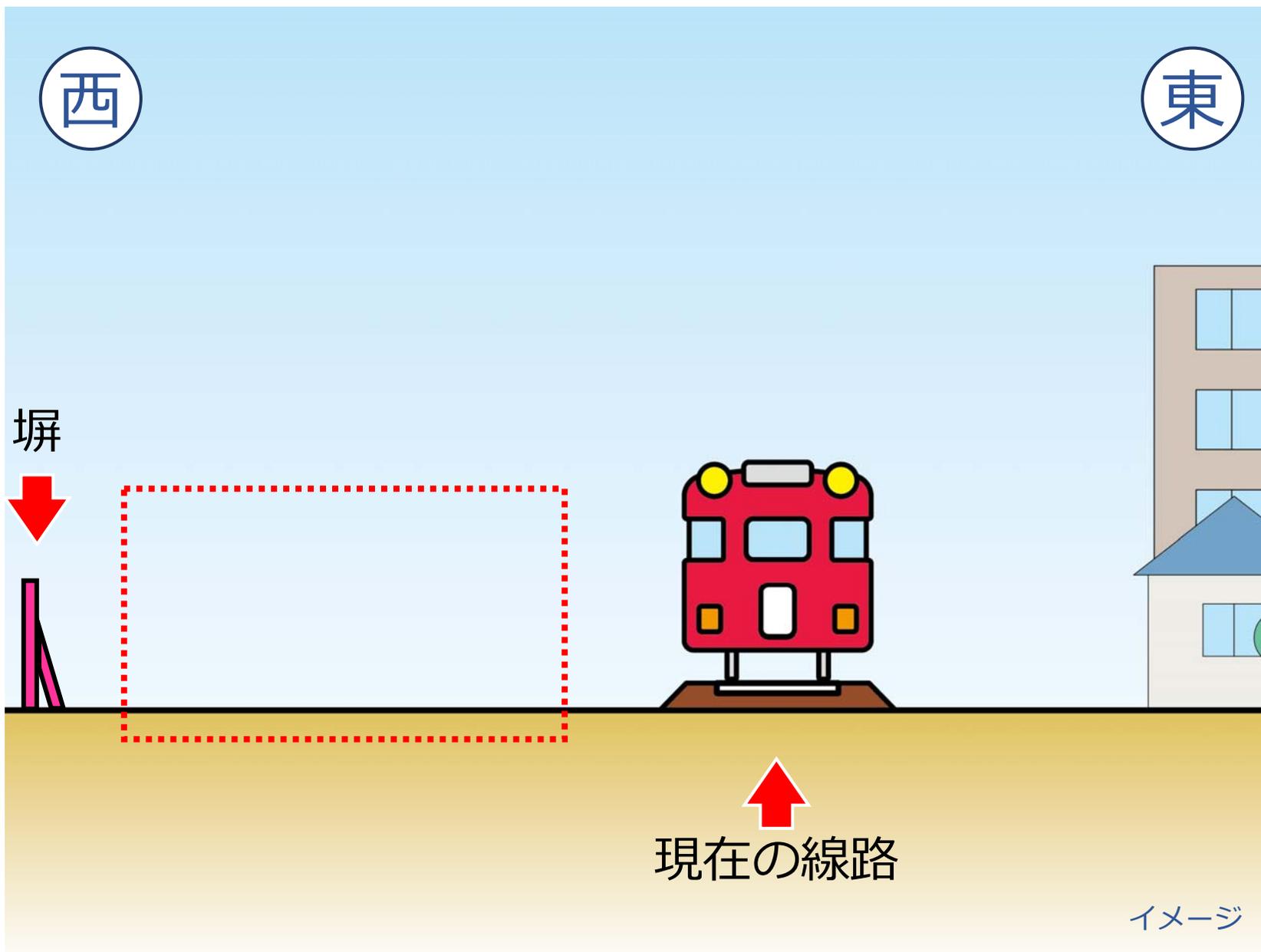


なお、鉄道高架化後の駅には、バリアフリーに配慮し、エレベーターなどを設けることで、誰もが快適に利用できるよう計画しています。

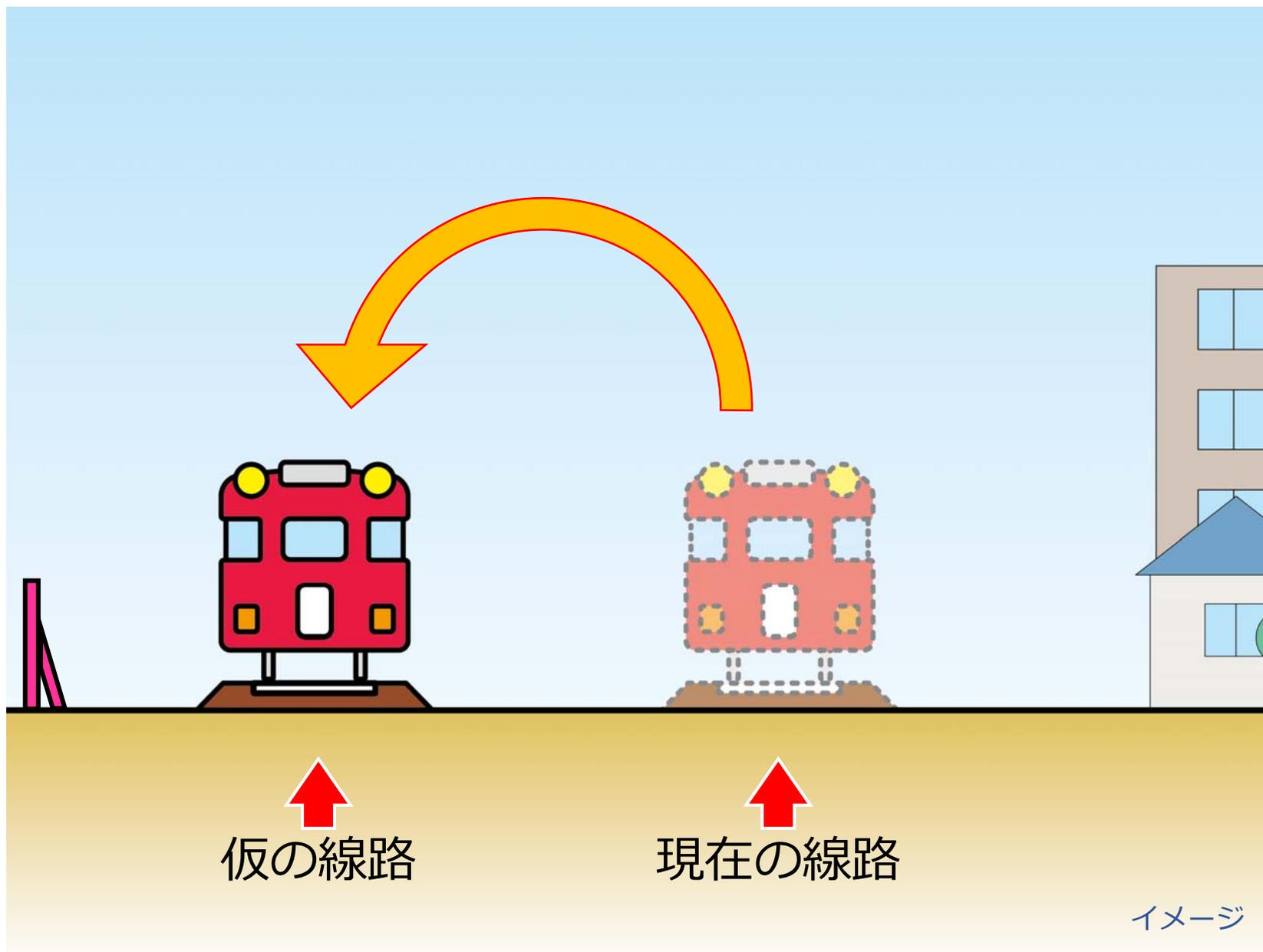
事業の流れ



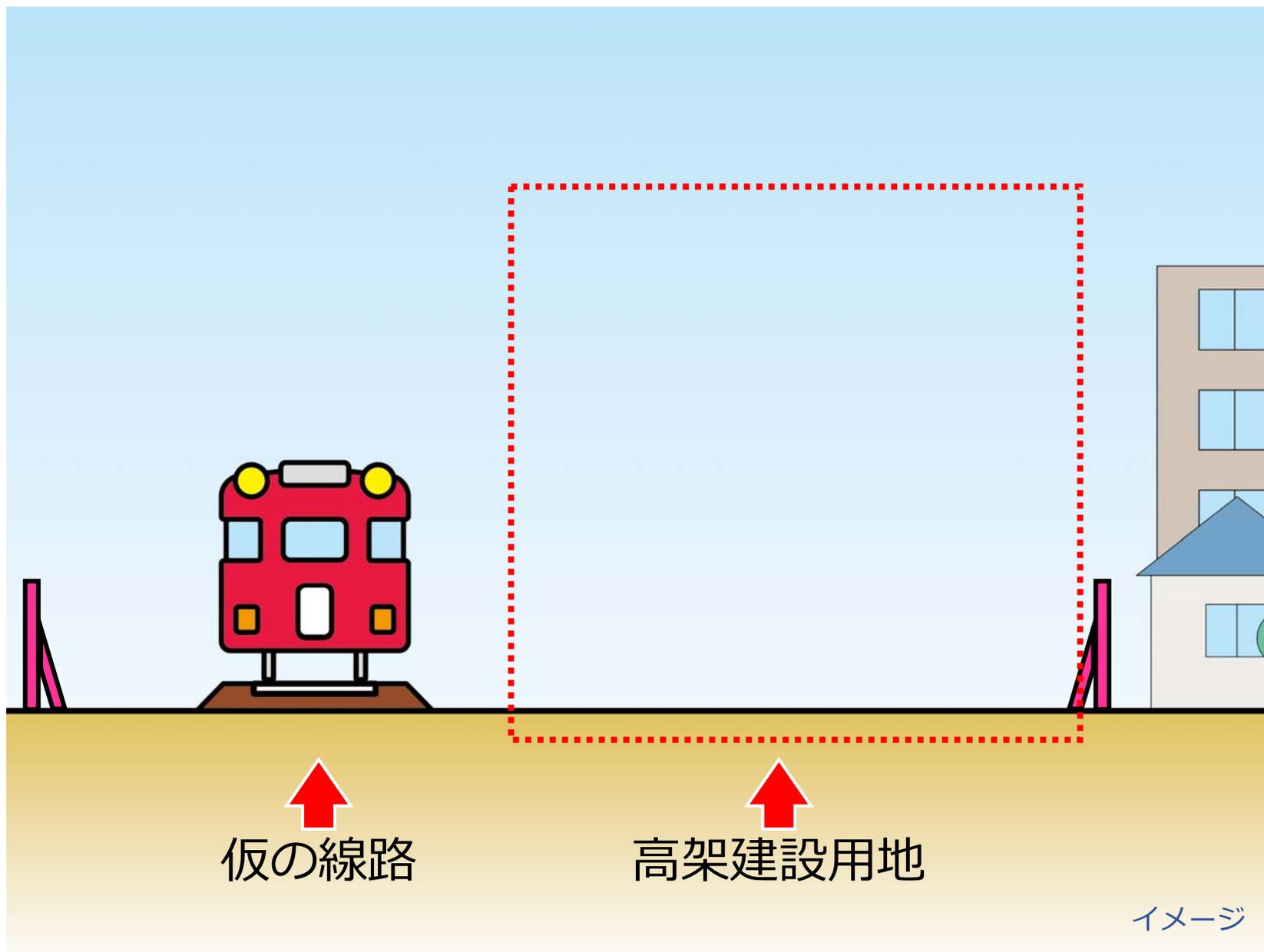
■ これより、事業完了までの事業の流れを、簡易的な横断図（列車の進行方向から見た図）を用いて説明します。



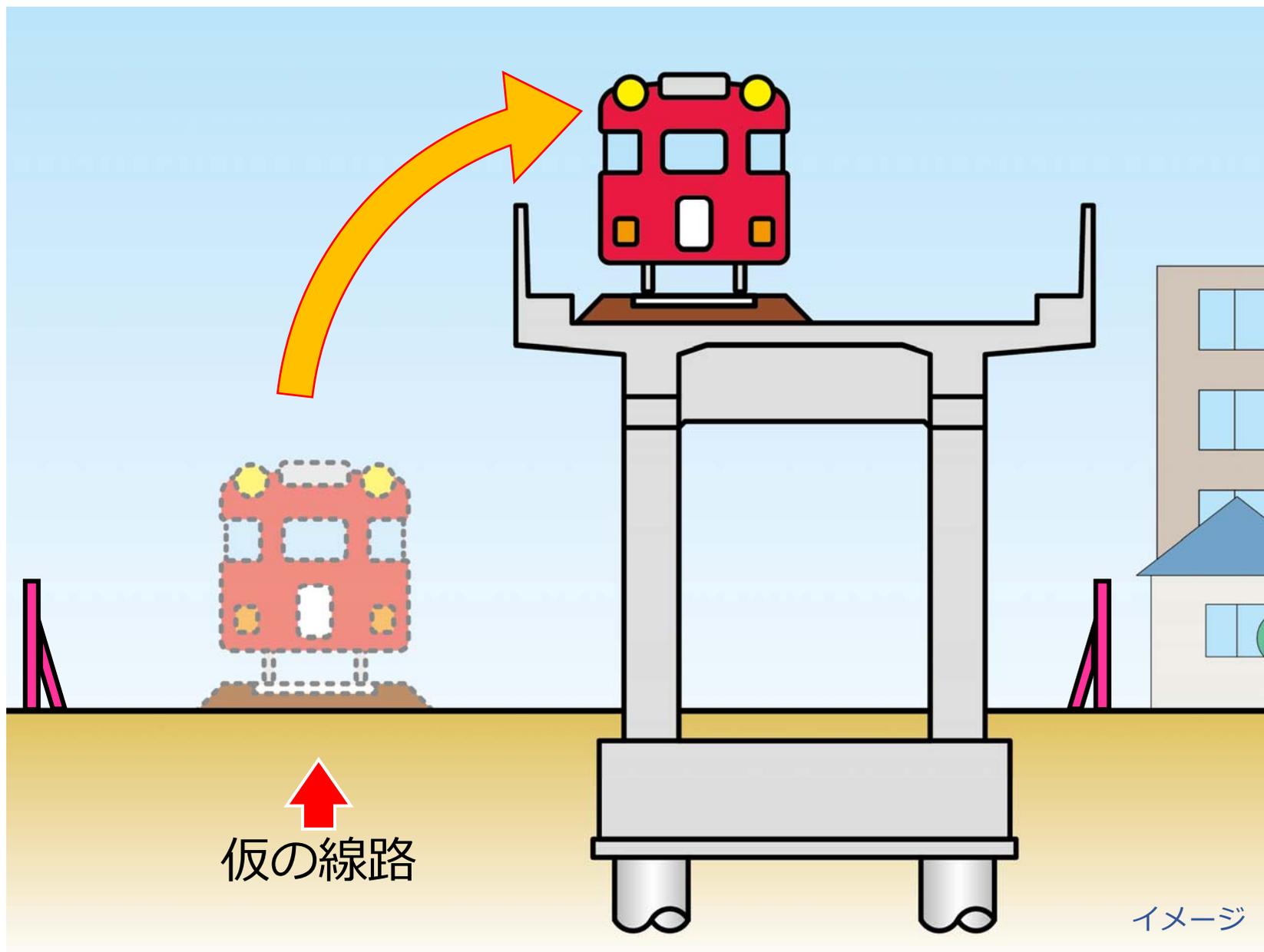
■ 工事はまず、将来の側道用地として、地域の皆様にご提供いただいた鉄道西側の土地に、



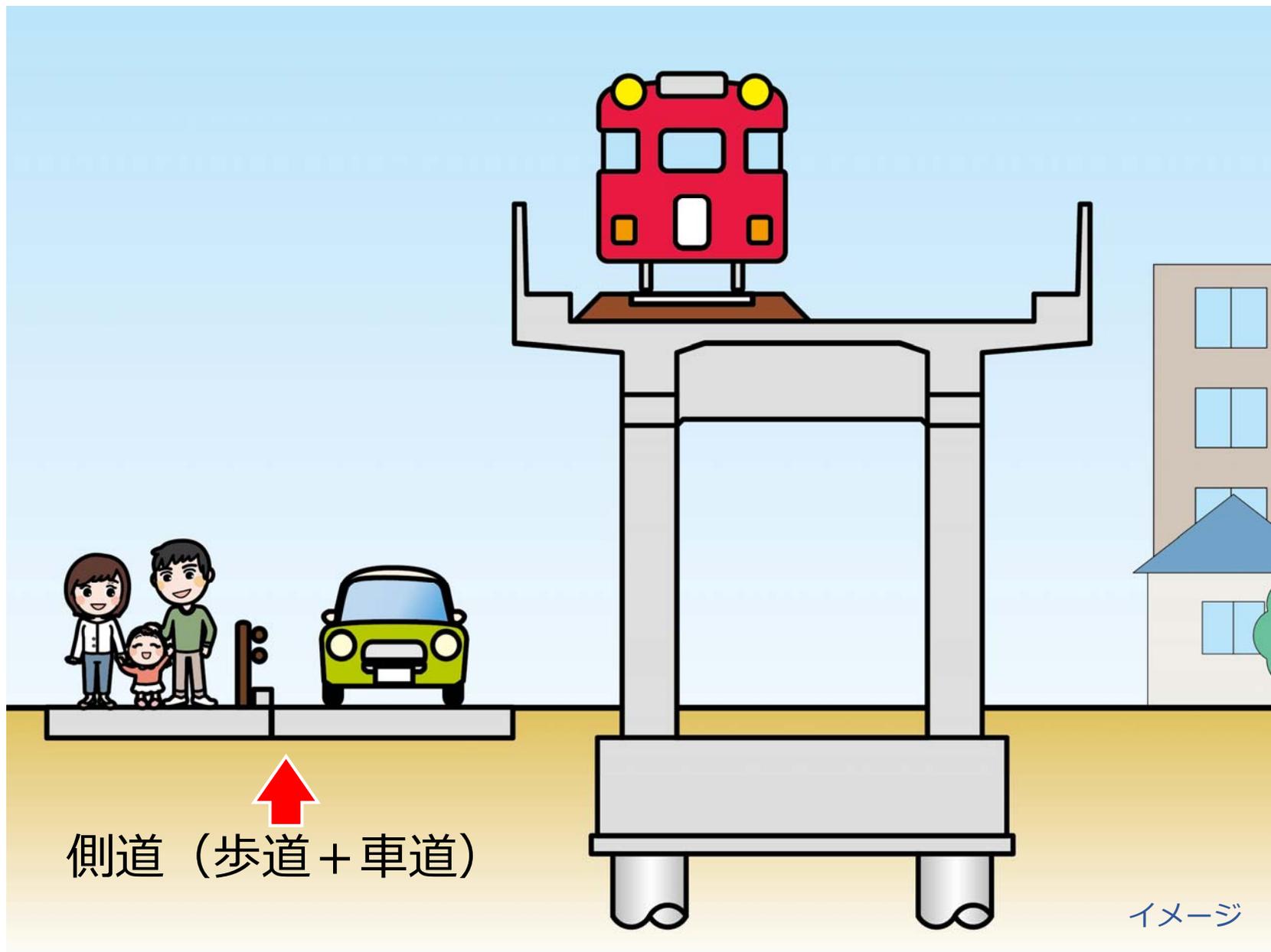
一時的に仮の線路を建設し、列車の運行を仮の線路に切り替えます。



■ 仮の線路の運行に切り替えた後、現在の線路を撤去し、現在の線路の位置に新たな線路を高架構造で建設します。



■ 高架橋が完成した後、仮の線路での列車運行を、高架線上の運行に切り替え、仮の線路を撤去します。



最後に側道を整備し、事業完了となります。



豊田市

Toyota City

豊田市では、事業効果の早期発現に向け、事業を推進していきます。皆様のご理解とご協力をお願いします。